

2007年度 離散数理 期末試験 (その1)

学籍番号： _____

氏名： _____

問題 1 周期 4 を持つ奇関数

$$f(x) = \begin{cases} x^2 & (-2 < x \leq 0) \\ -x^2 & (0 < x \leq 2) \end{cases}$$

のフーリエ正弦級数を求めなさい。(20 点)

解答例 奇関数であることに注意すると、フーリエ係数は、

$$\begin{aligned} b_k &= \frac{2}{L} \int_0^L f(x) \cdot \sin \frac{k\pi}{L} x \, dx = \frac{2}{2} \int_0^2 -x^2 \cdot \sin \frac{k\pi}{2} x \, dx \quad (\because L = 2) \\ &= \left[-x^2 \cdot \frac{2}{k\pi} \left(-\cos \frac{k\pi}{2} x \right) \right]_0^2 - \int_0^2 (-x^2)' \cdot \frac{2}{k\pi} \left(-\cos \frac{k\pi}{2} x \right) \, dx \\ &= \frac{2}{k\pi} \left[x^2 \cos \frac{k\pi}{2} x \right]_0^2 - \int_0^2 (-2x) \cdot \frac{2}{k\pi} \left(-\cos \frac{k\pi}{2} x \right) \, dx \\ &= \frac{2}{k\pi} (4 \cos k\pi - 0) - \frac{4}{k\pi} \int_0^2 x \cos \frac{k\pi}{2} x \, dx \\ &= \frac{8}{k\pi} \cos k\pi - \frac{4}{k\pi} \left(\left[x \cdot \frac{2}{k\pi} \sin \frac{k\pi}{2} x \right]_0^2 - \int_0^2 x' \cdot \frac{2}{k\pi} \sin \frac{k\pi}{2} x \, dx \right) \\ &= \frac{8}{k\pi} \cos k\pi - \frac{8}{k^2 \pi^2} \left(\left[x \sin \frac{k\pi}{2} x \right]_0^2 - \int_0^2 \sin \frac{k\pi}{2} x \, dx \right) \\ &= \frac{8}{k\pi} \cos k\pi - \frac{8}{k^2 \pi^2} \left((0 - 0) - \left[\frac{2}{k\pi} \cdot \left(-\cos \frac{k\pi}{2} x \right) \right]_0^2 \right) \quad (\because \sin k\pi = 0) \\ &= \frac{8}{k\pi} \cos k\pi - \frac{16}{k^3 \pi^3} \left[\cos \frac{k\pi}{2} x \right]_0^2 = \frac{8}{k\pi} \cos k\pi - \frac{16}{k^3 \pi^3} (\cos k\pi - 1) \\ &= 8 \frac{(k^2 \pi^2 - 2) \cos k\pi + 2}{k^3 \pi^3} = 8 \frac{(k^2 \pi^2 - 2)(-1)^k + 2}{k^3 \pi^3} \quad (\because \cos k\pi = (-1)^k) \end{aligned}$$

となる ($k = 1, 2, 3, \dots$)。したがって、周期 4 を持つ奇関数 $f(x)$ のフーリエ正弦級数は、

$$f(x) \sim \sum_{n=1}^{\infty} 8 \frac{(n^2 \pi^2 - 2)(-1)^n + 2}{n^3 \pi^3} \sin \frac{n\pi}{2} x$$

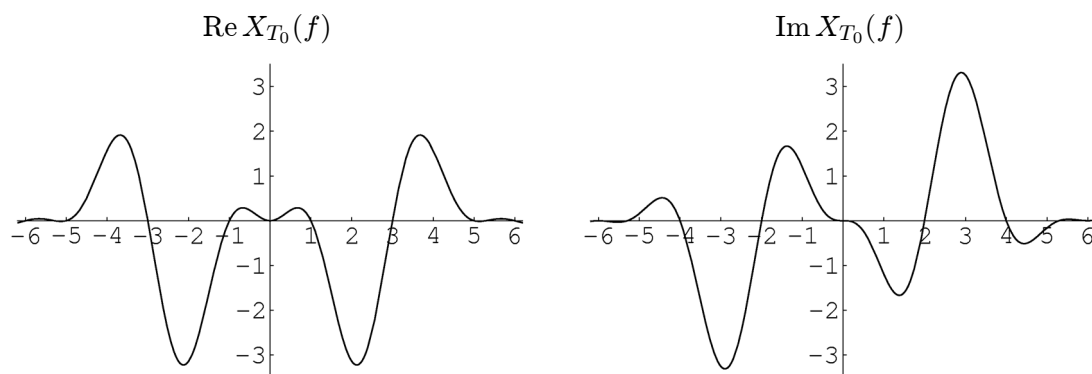
となる。

2007年度 離散数理 期末試験 (その2)

学籍番号：

氏名：

問題 2 周期 $T_0 = 0.5$ [秒] を持つある波 $x(t)$ を、区間 $[0, 0.5]$ を積分区間としてフーリエ変換したところ、以下の周波数スペクトル密度 $X_{T_0}(f)$ のグラフを得た。ある波を求めなさい。なお、各周波数 f [Hz] の値は下表の通りである (符号同順)。(20 点)



周波数 f [Hz]	0	± 1	± 2	± 3	± 4	± 5	± 6	\dots
$\text{Re } X_{T_0}(f)$	0	0	$-\pi$	0	$\frac{\pi}{2}$	0	0	\dots
$\text{Im } X_{T_0}(f)$	0	$\mp \frac{6}{5}$	0	$\pm \frac{114}{35}$	0	$\mp \frac{10}{63}$	0	\dots

解答例 周期 $T_0 = 0.5$ [秒] より、基準となる周波数は $f_0 = \frac{1}{T_0} = \frac{1}{0.5} = 2$ [Hz] である。したがって、周波数が $0, \pm 2, \pm 4, \pm 6, \dots$ について調べれば十分である。 $\text{Re } X_{T_0}(f)$ のグラフおよび表より、ある波 $x(t)$ は、 $f_1 = \pm 2$ [Hz] および $f_2 = \pm 4$ [Hz]、すなわち角速度 $\omega_1 = 2\pi f_1 = \pm 4\pi$ [rad/秒] および $\omega_2 = 2\pi f_2 = \pm 8\pi$ [rad/秒] の \cos 波形の波を含み、これらの振幅は、

$$\text{Re } X_{T_0}(+2) + X_{T_0}(-2) = (-\pi) + (-\pi) = -2\pi$$

および

$$\text{Re } X_{T_0}(+4) + X_{T_0}(-4) = \left(\frac{\pi}{2}\right) + \left(\frac{\pi}{2}\right) = \pi$$

となる。また、 $\text{Im } X_{T_0}(f)$ のグラフおよび表より、周波数 f [Hz] が $0, \pm 2, \pm 4, \pm 6, \dots$ の各点で $\text{Im } X_{T_0}(f) = 0$ であるから、ある波 $x(t)$ に \sin 波形の波は含まれない。以上より、ある波 $x(t)$ は、

$$x(t) = -2\pi \cos 4\pi t + \pi \cos 8\pi t$$

である。

2007年度 離散数理 期末試験 (その3)

学籍番号：

氏名：

問題 3 ある波 $x(t)$ を 2 [秒] (区間 $[0, 2]$) にわたって観測し、一定間隔でサンプリングしたところ、離散化された波 (離散的な波; 数値列; データ)

$$\{ 0, -4, 0, 4 \}$$

を得た。離散フーリエ変換 (離散周波数スペクトル密度) を使って、ある波 $x(t)$ を求めなさい。
(20 点)

解答例 $T_0 = 2$ より、周波数分解能 $\Delta f = \frac{1}{T_0} = \frac{1}{2} = 0.5$ [Hz] である。さらに、 $N = 4$ より、離散周波数スペクトル密度を求めると、

$$\begin{aligned} X_{T_0}(k\Delta f) &= \frac{X_k}{T_0} = \frac{1}{T_0} \left(\frac{T_0}{N} \sum_{n=0}^{N-1} x_n W_N^{nk} \right) = \frac{1}{4} \sum_{n=0}^3 x_n W_4^{nk} \quad (k = 0, 1, 2, 3) \\ \Leftrightarrow \frac{1}{T_0} \begin{pmatrix} X_0 \\ X_1 \\ X_2 \\ X_3 \end{pmatrix} &= \frac{1}{4} \begin{pmatrix} W_4^0 & W_4^0 & W_4^0 & W_4^0 \\ W_4^0 & W_4^1 & W_4^2 & W_4^3 \\ W_4^0 & W_4^2 & W_4^0 & W_4^2 \\ W_4^0 & W_4^3 & W_4^2 & W_4^1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_0 \\ x_1 \\ x_2 \\ x_3 \end{pmatrix} \quad (\because W_4 = e^{-i\frac{2\pi}{4}}) \\ &= \frac{1}{4} \begin{pmatrix} 1 & 1 & 1 & 1 \\ 1 & -i & -1 & i \\ 1 & -1 & 1 & -1 \\ 1 & i & -1 & -i \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 0 \\ -4 \\ 0 \\ 4 \end{pmatrix} = \frac{1}{4} \begin{pmatrix} 0 \\ i8 \\ 0 \\ -i8 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 0 \\ i2 \\ 0 \\ -i2 \end{pmatrix} \end{aligned}$$

となる。 $X_3 = X_{-1}$ となることに注意すれば、各周波数における離散周波数スペクトル密度は以下の通りである。

k	3	0	1	2
周波数 $k\Delta f$ [Hz]	-0.5	0	0.5	1.0
$\text{Re } X_{T_0}(k\Delta f)$	0	0	0	0
$\text{Im } X_{T_0}(k\Delta f)$	-2	0	2	0

表より、ある波 $x(t)$ は、角速度 $\omega = 2\pi f = \pm\pi$ [rad/秒] (周波数 $f = k\Delta f = \pm 0.5$ [Hz]) の sin 波形の波であることがわかる。なお、sin 波形の波の振幅は、

$$-\text{Im } X_{T_0}(0.5) + \text{Im } X_{T_0}(-0.5) = -(2) + (-2) = -4$$

となる。以上より、ある波 $x(t)$ は、

$$x(t) = -4 \sin \pi t$$

である。